

まちだししょう ^{しゃ}障がい者プラン21-26
わかりやすい^{ばん}版



2021^{ねん}年3^{がつ}月
まち ^だ田 ^し市

ひょうし え し ない こうぼう かよ
表紙の絵：市内にあるクラフト工房LaManoに通う

おさき ふみひこ えが さくひん おさき
尾崎 文彦さんが描いた作品です。尾崎さんの

さくひん
作品は、カレンダーやポストカード等のグッズになり、

した
親しまれています。

うらびょうし え し ない こうぼう かよ
裏表紙の絵：市内にあるクラフト工房LaManoに通う

たく りょうたろう えが さくひん
卓 遼太郎さんが描いた作品です。

たく だい かい とうきょうとしょうがいしゃそうごうびじゅつてん か さくとう
卓さんは第33回 東京都障害者総合美術展 佳作等を

じゅしょう かつやく
受賞するなど、活躍されています。

この冊子は、「町田市障がい者プラン 21-26」について、
わかりやすく説明したものです。

「町田市障がい者プラン 21-26」は町田市の障がいがある人を
支えとりくみを計画的にすすめるために、たくさんの人が参加して
つくられたものです。

障がいがある人が町田市で安心して暮らしつづけられるようにするた
めに、これからとりくむことが書かれています。

この計画は、2021年度から 2026年度の6年間の計画です。
3年たったなら、のこりの3年間にとりくむことを考えます。

※この計画では、「障害」ということばを「ひと」についてつかう
場合は、「障がい」と書いています。

いちばん おも きほんりねん 一番だいじな想い（基本理念）

かち ゆうれつ いのちの価値に優劣はない

「いのち」の^{とうと}尊さは、^{しょう}障がいがある人もない人もみな同じです。

まちだし^{しみん}町田市では、市民のだれもがもつこれらの^{けんり}権利を^{いちばん}一番だいじにして
この^{けいかく}計画をつくりました。



おお はしら きほんもくひょう とりくみの大きな柱（基本目標）

もくひょう ちいき く しょうがい ささ しゅく 目標1 地域での暮らしを生涯にわたって支える仕組みをつくる

^{しょう}障がいがあっても^す住みなれた^{まちだし}町田市で^{あんしん}安心して暮らしつづけられるよう、
ずっと^{ささ}支える^{しゅく}仕組みをつくれます。

もくひょう しょう りかい さべつ 目標2 障がいについての理解をひろげ、差別をなくす

^{しょう}障がいがあることで^{さべつ}差別されたり、^{なかま}仲間はずれにされたりすることが
なくなるよう、たくさんの^{ひと}人に、^{しょう}障がいについて^し知ってもらうようにします。
また、^{ほうりつ}法律などにもとづいて^{しょう}障がいがある人の^{けんり}権利をまもります。

1

まな ぶ ん かげいじゅつ
学び、文化芸術、
かつどう
スポーツ活動のこと

しょう ひと ぶん かげいじゅつ たの
障がいがある人がスポーツや文化芸術を楽しめるようにします。

しない しょうがっこう しょう しょう たいけんきょうしつ
市内の小学校で、障がい者スポーツの体験教室をおこなうなど、
しょう しょう しょう りかい
障がい者スポーツをひろめ、障がいについての理解をひろげます。

おとな まな つづ しかく ちょうかく しょう
大人になっても学び続けられるように、視覚や聴覚などの障がい
に合った学習プログラムをつくります。また、活動を発表できる
きかい
機会もつくります。



2

く暮らすこと

あんしん せいかつ せいかつ そうですね せいかつ てづだ
安心して生活できるように相談にのったり、生活のお手伝いをす
るいろいろなサービスを利用できるようにします。

いろいろなサービスを組み合わせて、しょうがいがある人の暮らしを
しっかりとささえられるようにします。

せいしんしょう ひと びょういん たいいん あんしん ちいき
精神障がいがある人が病院から退院したあとも、安心して地域で
暮らせるように、みんながいっしょになってささえます。

グループホームやひとり暮らしなど、暮らしてみたいと思う暮らし
かたができるようにします。

とく おも しょう しょうがいがあるひと りよう ふう
特に重い障がいがある人が利用しやすいグループホームを増や
すために、みんなでいっしょにかんがえます。



3

にっちゅうかつどう はたら 日中活動・働くこと

くるま つか ひと おも しょう ひと ばしょが
車いすを使っている人や、重い障がいがある人もかよえる場所が
ふ かんが
増えるように考えます。

たくさんのひとがずっと はたら 仕事つづけられるために、なにが ひつよう 必要かを
しら 調べます。

はたら 働くことについて そうだん 相談にのったり、アドバイスしたりする しせつ 施設や
しえん 支援センターが、もっと きょうりよく 協力できるように はな あ 話し合います。



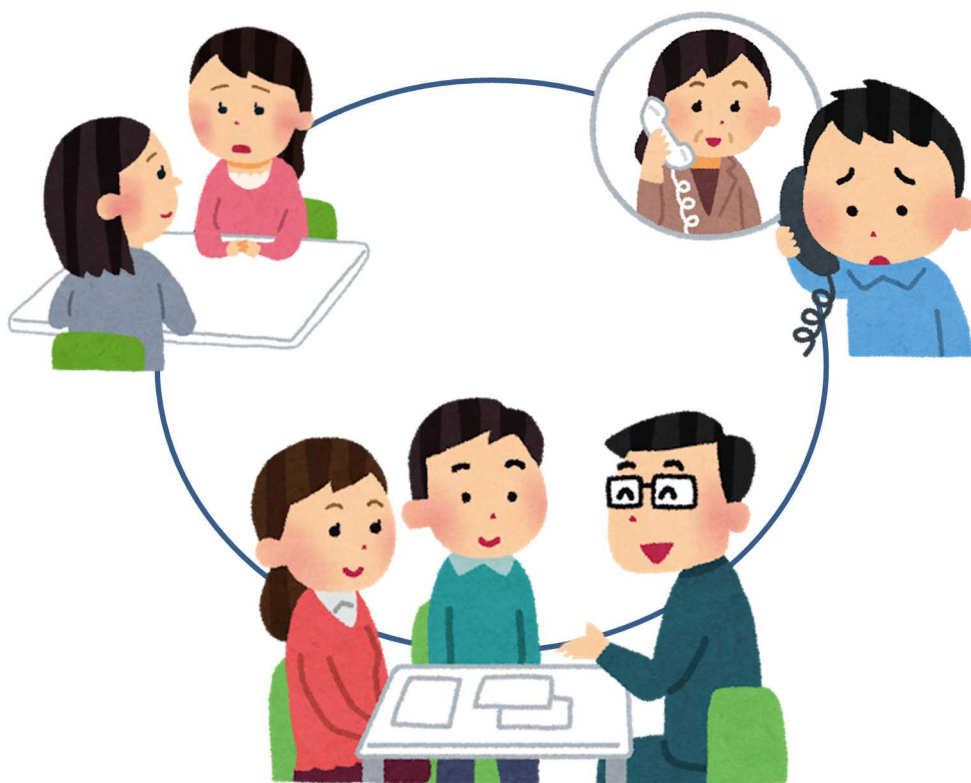
4

そう だん
相談すること

いろいろな^{こま}困りごとを、みんなで^{きょうりよく}協力して^{かいけつ}解決できるようにします。

^{そう だん}相談できないで^{こま}困っている人^{ひと}を訪ねて、^{こま}困りごとの^{そう だん}相談にのります。

「^{まち}町田^{だししょう}市^{しゅうえん}障がい者支援センター」をもっと^{みな}皆さんに^し知ってもらえるようにします。



まちだししょう しゃしえん 町田市 障がい者支援センター

しょう 障がいのこと、サービスのことなどについて困っていることを
そうだん 相談できます。

かいしょ び げつようび きんようび どにち しゅくじつ ねんまつねんし やす
開所日 月曜日～金曜日（土日、祝日、年末年始は休み）

かいしょじかん ごぜん じ ぶん ごご じ
開所時間 午前8時30分から午後5時まで

さかいちいきしょう しゃしえん
堺地域障がい者支援センター

〒194-0212

おやままち
小山町1234-1

でんわ
電話：042-794-8790

FAX：042-798-2290

ただお ちいきしょう しゃしえん
忠生地域障がい者支援センター

〒194-0203

す しまち
函師町1677-1

でんわ
電話：042-794-4851

FAX：042-794-4852

つるかわ ちいきしょう しゃしえん
鶴川地域障がい者支援センター

〒195-0053

のう が や
能ヶ谷3-2-1

つるかわちいき
鶴川地域コミュニティ 1階

でんわ
電話：042-708-8821

FAX：042-708-8977

まちだちいきしょう しゃしえん
町田地域障がい者支援センター

〒194-0013

はらまちだ
原町田5-4-3

だい おおつか かい
第2大塚ビル 1階101

でんわ
電話：042-709-1301

FAX：042-709-1302

みなみちいきしょう しゃしえん
南地域障がい者支援センター

〒194-0015

かなもりひがし
金森東3-18-16

がっしょうえんかつらりょう かい
合掌苑桂寮 1階

でんわ
電話：042-706-9624

FAX：042-799-2145

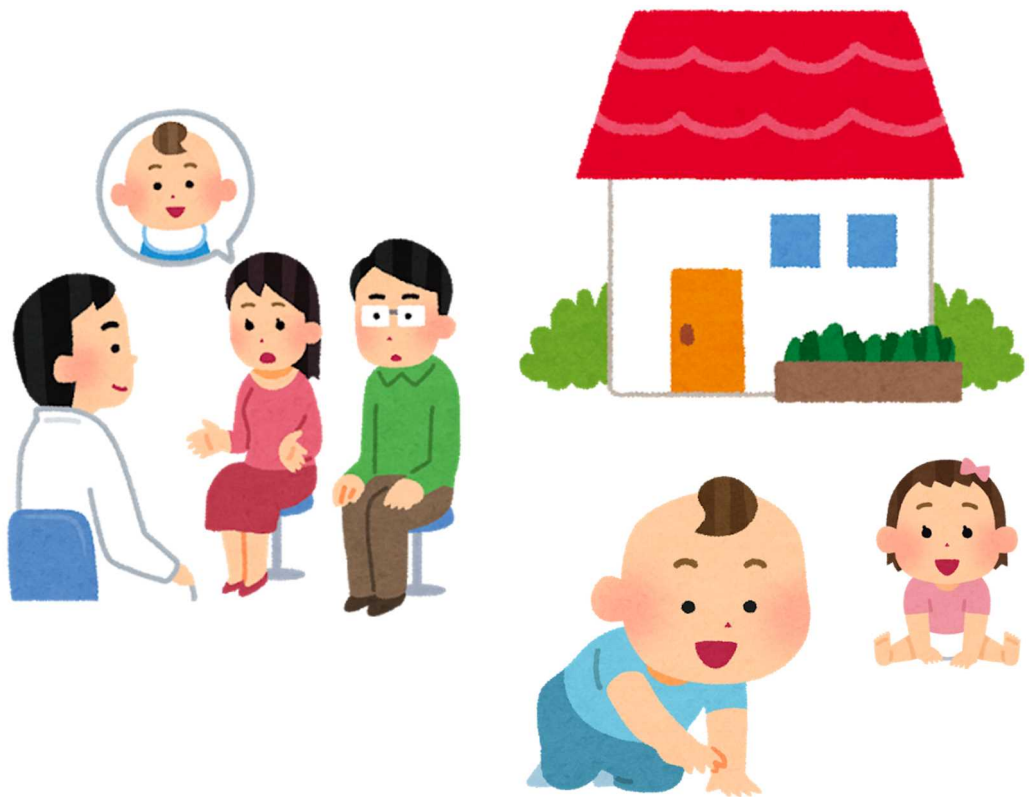
5

か て い き ず 家庭を築くこと か ぞ く さ さ 家族を支えること

しょう 障 がいがある人も、ひと けっこん 結婚したり、あんしん 安心して子どもをう 産んだりそだ 育てたりすることができるように、やく た 役に立つサービスをつた 伝えたり、そうだん 相談にのったりします。

しょう 障 がいがあるひと 人をささ 支えているか ぞ く 家族のそうだん 相談にのります。

か ぞ く びょうき 家族が病気などのときに、か ぞ く か 家族に代わってたんきかん 短期間、しょう 障 がいがあるひと 人をささ 支えるじぎょうしょ 事業所が増えるようにします。



6

ほけん いりょう
保健・医療のこと

しょう 障がいがあることで病院でいやな思いをしたり、ちゃんとした
りゆう 理由の説明がないまま診察を断られたりすることがないように
します。

かかりつけのいしや 医者やかかりつけのはいしや 歯医者をもつことがだいじ 大事なとい
うことを、これからも知らせていきます。

ひつよう 必要としている人にひと ひと 病院などのじょうほう 情報をつた 伝えます。



7

じょうほう 情報アクセシビリティ※ のこと

※「^{じょうほう}情報アクセシビリティ」とは、だれでも、ほしいと^{おも}思う^{じょうほう}情報を^{あつ}集めやすくするということです。

^{びょういん}病院、^{ぎんこう}銀行、^{みせ}お店などに、^{みみ}耳に^{しょう}障がいがあっても、^{はな}話したり^き聞いたりしやすくなるよう、^{ねが}お願いしていきます。

^{しやくしょ}市役所からの^しお知らせなどは、どんな^{しょう}障がいがあっても、だれでもわかりやすくとどけます。そのために、^{しやくしょ}市役所の^{しよくいん}職員も^{べんきょう}勉強します。

^{しょうがいしゃてちょう}障害者手帳をもっていない^{ひと}人や、サービスや^{しえんきかん}支援機関を利用して^{ひと}いない人にも^{じょうほう}情報が^{つた}伝わるよう、^{まどぐち}窓口で^{あんない}案内をくばります。



8

せいかつかんきょう あんぜん あんしん
生活環境と安全・安心のこと

たてもの た せいかつかんきょう しょうがいがある人 ひと こうれいしゃ など、だれもが
つかいやすい施設 しせつ になるようにします。

しょうがいがある人 ひと が、はんざい し こ 犯罪や事故・トラブルの そうだん 相談をするときに、
そうだん ひと しょうがい 相談にのる人が しょうがいのことをわかってくれるようにします。

じしん さいがい 地震や災害がおきたときに、しょうがいがある人 ひと が避難所 ひなんじょ で安全 あんぜん に過
ごせるための方法 ほうほう かんが を考えます。

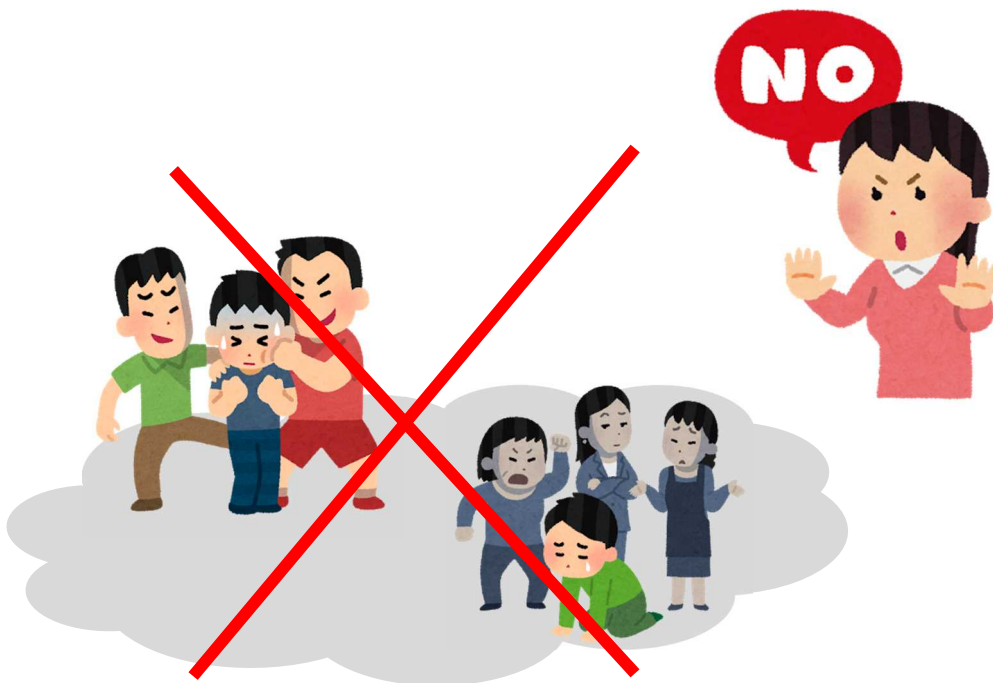


9

差別をなくすこと 権利を守ること

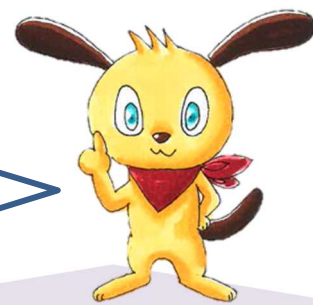
障がいがある人への差別を解消するための条例をつくります。

障がいがある人への差別や虐待防止に関することを、市民や事業者に広く知らせます。



町田市障がい者差別解消犬ノンバリー
です！

障がい者差別の解消にむけた情報をわかりやすく伝えられるようがんばります！



い^{おも}やな^{とき}思^{そう}い^{だん}をし^{だん}た時の相談

事業者^{じぎょうしゃ}など（通^{かよ}う施設^{しせつ}、お^{みせ}店^{びやういん}、病^{びやういん}院^{こうつうきかん}、交^{ぎやうせいきかん}通^{きかん}機^{かん}関^{かん}、行^{ぎやうせいきかん}政^{かん}機^{かん}関^{かん}など）から障^{しょう}がいがあることを理^り由^{ゆう}にい^いやなことを言^いわれたり、他^{ほか}の人^{ひと}とちがうあ^うつ^{おち}か^{とき}い^{れんらく}を^{れんらく}受^{れんらく}けてい^{れんらく}やな思^{れんらく}い^{れんらく}をし^{れんらく}た時^{れんらく}はこ^{れんらく}こ^{れんらく}に連^{れんらく}絡^{れんらく}し^{れんらく}てく^{れんらく}だ^{れんらく}さい。

まちだし
町田市

しょう
障がい
ふくしか
福祉課

でんわ

電話 042-724-2147

FAX 050-3101-1653

家^か族^{そく}や通^{かよ}っている施^し設^{せつ}の^{ひと}人^{ひと}、会^{かい}社^{しゃ}の^{ひと}人^{ひと}などか^から^から^かぶ^かた^かれ^かたり、勝^か手^てに^{からだ}体^{からだ}を^{からだ}さ^{からだ}わ^{からだ}ら^{からだ}れ^{からだ}たり、大^{おお}声^{こえ}で怒^{おこ}ら^{おこ}れ^{おこ}たり、無^む視^しさ^むれ^むたり、も^もら^もえ^もる^もは^もず^もの^もお^も金^{かね}を^{かね}も^{かね}ら^{かね}え^{かね}な^{かね}か^{かね}つ^{かね}たり^{かね}し^{かね}た^{かね}時^{とき}はこ^{とき}こ^{とき}に連^{れんらく}絡^{れんらく}し^{れんらく}てく^{れんらく}だ^{れんらく}さい。

まちだし
町田市

しょう
障がい
ふくしか
福祉課

でんわ

電話 042-724-2147

FAX 050-3101-1653

まちだし
町田市

しょう
障がい
しゃしえん
者支援
センター

でんわばんごう

電話番号は9ページ

10

ぎょうせい 行政サービスのこと

しょう がい り かい ぶん しょう がい しやくしよ しよくいん べんきよう
障がい理解を深めるために、市役所の職員も勉強します。

ひとり しょう しょうきよう かんが しょう ひとり
一人ひとりの障がいの状況を考えて、障がいがある人が
しやくしよ てつづ
市役所でスムーズに手続きができるようにします。



しょうがいのことやしょうがいがある人が困っていることについてたくさんの人に知ってもらえるようにします。

しょうがいがある人を支えるために働く人たちを増やします。また、その人たちがいきいきと働けるようにするには、どのようなことができるか、たくさんの人と一緒に考えます。



この計画を進めるために気をつけること

いままで福祉のサービスを使ったことのない人たちにも、
情報が届くように工夫します。

たくさんの人に障がいについて知ってもらい、
こころのバリアフリーをひろげます。

障がいがある人とその家族などからの意見をしっかり聞きます。

障がい、医療、教育、雇用などそれぞれのことにくわしい人が集まる
「町田市障がい者施策推進協議会」で話しあってもっとよい支援が
できるように考えます。

市役所の職員もみんなで障がいについて勉強して、協力して障がい
がある人を支えられるようにします。

障がいがある人をずっと支えていけるよう、どんなことが必要か考え
とりくみます。

感染症への対策についていろいろな
人と話し合って考えます。

市役所だけでなく、国や東京都とも
よく話し合います。



この冊子は「町田市障がい者青年学級」と「とびたつ会」に参加している知的障がいがある方などに協力いただいてつくりました。

<町田市障がい者青年学級>

知的障がいがある人を中心に音楽・スポーツ・演劇・創作活動などをおして集団活動にとりくむ団体



<とびたつ会>

青年学級の卒業生がたちあげた障がいがある人の当事者団体



町田市障がい者プラン
21-26

わかりやすい版

発行年月
刊行物番号
発行

印刷

2021年3月

20-76

町田市地域福祉部 障がい福祉課
町田市森野2丁目2番22号

TEL 042-724-2147

FAX 050-3101-1653

(株)サーベイリサーチセンター



この冊子^{きっし}は、200部^ふ作成^{さくせい}し、1部^ふあたりの単価^{たんか}は631^{えん}円^{えん}です。(職員^{しよくいん}人件費^{じんけんひ}を含みます。)